

．実施地区の報告

1．長野県・塩尻市

事業の概要

1．事業名

「地域みんなの交通安全教室 in 塩尻」
(参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業)

2．主 催

内閣府、地区実行委員会

3．事務局

(一財)日本交通安全教育普及協会

4．実施会場

中南信運転免許センター(長野県塩尻市宗賀桔梗ヶ原)

5．実施日時

平成 28 年 11 月 23 日(祝) 13:00~16:00

6．参加者

交通安全リーダー研修会参加者 57 名、塩尻市の住民等約 91 名

7. 進行スケジュール表

時 間	
10:00	実行委員・協力スタッフ集合 各コーナーのセッティング&リハーサル等
12:30~13:00 (30分)	受 付 (来賓等名簿チェック)
13:00~13:20 (20分)	開会式 主催者・来賓紹介・イベント紹介 交通安全標語表彰式
13:20~14:20 (60分)	交通安全体験・展示ブース 【各ブース】
14:20~15:20 (60分)	スケアードストレイト 【屋外コース】
15:20~16:00 (40分)	リーダー研修会参加者座学 【屋内】 交通安全体験・展示ブース 【各ブース】
展示ブース内容	交通安全体験車「チャレンジ号」 自転車シミュレーター 歩行環境シミュレーター「わたりジョーズ君」 パトカー・白バイの展示 シートベルトコンビンサー こども安全免許証「こめんちゃん」 飲酒ゴーグル・反射材効果体験 セニアカー体験
16:00	アンケート調査票記入・回収・啓発グッズ配布 閉会行事

8. プログラム内容

開会（主催者挨拶、来賓紹介、実行委員会挨拶等）

交通安全標語表彰式

交通安全体験・展示ブース

県警ブース

交通安全体験車「チャレンジ号」・自転車シミュレーター

歩行環境シミュレーター「わたりジョーズ君」・パトカー・白バイ展示

JAF ブース

シートベルトコンビンサー・こども安全免許証「こめんちゃん」

支援センターブース

飲酒ゴーグル・反射材効果体験ほか

スズキ自販長野ブース
セニアカー体験
スケアードストレイト
リーダー研修会参加者座学
閉会（アンケート回収、閉会挨拶等）

9. 実施体制

本事業は、地域の交通事情・交通安全教育の実情等を考慮した内容とするため、日頃、地域において交通安全教育や交通安全活動等に携わっている関係者 15 名による実行委員会を設置し、プログラムの企画と運営にあたった。

実行委員会等開催経過

事前打合せ

期日：平成 28 年 7 月 29 日（金）

会場：長野県 暮らし安全・消費生活課 会議室

協議事項：趣旨説明

実施日の検討

参加予定者の検討

第 1 回実行委員会

期日：平成 28 年 9 月 2 日（金）

会場：塩尻警察署警察署 会議室

協議事項：趣旨説明

参加者募集方法の検討

プログラム（展示ブース）内容の検討

第 2 回実行委員会

期日：平成 28 年 11 月 1 日（火）

会場：塩尻警察署 会議室

協議事項：当日スケジュールについて

スタッフ役割分担について

会場レイアウトについて

啓発物品等の確認

交通標語表彰式の手順確認

第 3 回実行委員会（事後）

期日：平成 28 年 12 月 16 日（金）

会場：塩尻警察署 会議室

協議事項：事業の評価及び反省等

参加者アンケート集計結果

10. 事後実行委員会総括（事務局まとめ）

実施についての感想

- ・当日は寒さの影響で、予想していた数よりも参加者が少なかったが、スケアー
ドストレイト等の実施により、交通ルールやマナーを守らなければいけないと
いう気持ちが高まった、とする参加者が 9 割以上を占めたことは大きな成果を
得たと言える。

成果と課題・今後と取り組み

- ・内閣府の支援をいただいたことは、今後の行政、地域、警察の連携にとってと
ても有意義である。
- ・日頃から交通ボランティアに携わる関係者との人脈の構築、相互にアイデアを
出し合い、目的達成のために情熱を堅持して向かうこと、そのような関係を築
き、経験を積むことが必要である。
- ・より多くの参加者を募るためには、それぞれの世代の関係機関の代表者等に、
実行委員会の段階から協力を仰ぐことはもちろん、マスコミ等を積極的に利用
し、広く広報することが成功のカギといえる。